



## 今日のトピック FRBに叩かれた米国株式市場

### 業績の下振れ終了を待ち、その後の回復に期待

#### ポイント1

#### 再び下落の米国株式市場 金利上昇に伴う株価水準の修正

- 8月の米国株式市場は、月前半、物価に対する楽観的な期待や景況感の大幅な悪化から、将来の金融緩和を先取りする展開となりました。しかし、下旬は26日のジャクソンホール会議で、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が厳格な金融政策運営を表明したことなどから、金融緩和期待は一気に打ち砕かれ、株価は大幅な調整を余儀なくされました。

#### ポイント2

#### 続く業績の下方修正 年後半以降の修正はこれから

- 一方、企業業績は下方修正が続いています。S&P500種指数採用企業の22年4-6月期の増益率（当期利益）は前年同期比+8.5%、除くエネルギーセクターベースで同▲2.2%でした（8月26日。リフィニティブ集計）。また、7月末の段階で辛うじてプラスを維持していた7-9月期の増益率予想（除くエネルギーセクター）は今回同▲1.4%の減益に下方修正されました。7-9月期はヘルスケア、情報技術が減益予想に転換しました。



#### 【S&P500種指数採用企業の業績見通し】

(前年同期比、%)

	2022年				2023年	
	1-3月 実績	4-6月 実績・予想	7-9月 予想	10-12月 予想	1-3月 予想	4-6月 予想
一般消費財	▲27.9	▲12.4	18.1	▲0.2	64.9	50.9
生活必需品	7.9	1.9	▲2.9	0.6	2.5	7.0
エネルギー	269.5	296.7	120.0	62.5	23.0	▲28.7
金融	▲17.1	▲19.1	▲8.9	▲2.2	9.2	16.1
ヘルスケア	18.3	8.7	▲4.0	0.7	▲7.1	▲3.5
資本財・サービス	40.5	31.5	28.2	46.3	33.1	13.9
素材	46.3	17.4	6.8	4.7	▲8.8	▲8.3
不動産	25.5	13.0	10.6	10.2	▲1.7	0.4
情報技術	14.6	1.4	▲3.0	1.6	2.3	10.2
コミュニケーション・サービス	▲2.8	▲20.3	▲15.8	▲9.0	5.5	17.1
公益事業	24.6	▲3.7	▲7.1	3.8	▲5.1	▲0.2
S&P 500	11.4	8.5	5.4	6.3	7.7	5.6
(除くエネルギー)	5.2	▲2.2	▲1.4	2.5	6.4	10.8

（注）データは2022年1-3月期～2023年4-6月期。2022年8月26日現在。  
  は2022年7月29日比での下方修正を示す。  
 （出所）リフィニティブのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

#### 今後の展開

#### 業績の下振れ終了を待ち、その後の回復に期待

- 米国株式市場は、金利上昇に加え、景気後退懸念とさらなる業績の悪化を織り込むと予想され、値動きの激しい展開が続く見通しです。弊社では、米国では潜在成長率（1.6%程度）を下回る低成長が数四半期にわたって続くともっており、来年後半の回復を想定しています。大幅な景気後退ではないものの、当面業績の悪化は続くと思われます。ただ、景気後退・業績悪化を織り込む局面は、次の上昇モメンタムを生むための通過点と考えることもできます。現在は、業績の下振れ終了を待ち、その後の回復を期待する局面と言えそうです。

#### ここも チェック!

2022年9月 1日 ジャクソンホール通過で考える今後のポートフォリオ戦略  
 2022年8月24日 米政策金利の見通し、先走り過ぎたマーケット

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。